《「胃癌術後炎症反応に関する多施設共同後ろ向き調査研究」の追跡調査》

１．研究の対象

「胃癌術後炎症反応に関する多施設共同後ろ向き調査研究」に登録された全症例です。同研究は、2008 年 1 月 1 日より 2010 年 12 月 31 日までに R0 切除を行った pT2 以深の初発胃癌症例を対象としています。

２．研究目的・方法

【目的】

R0 切除を行った pT2 以深の胃癌症例に対し、術後血清 CRP と Alb 値を組み合わせた GPS スコアが予後を反映するかどうか、また術後のどのタイミングの血清 CRP および Alb 値を用いた GPS スコアがより予後を反映するかを明らかにすることです。

【方法】

本研究は多施設共同後ろ向き研究です。

治癒切除が行われた症例において、術直後（術後 3 日目（±1 日）および血清 CRP・Alb 最悪値）GPS と無再発生存期間、全生存期間、疾患特異的生存期間との関連性について明らかにします。

３．研究に用いる試料・情報の種類

「胃癌術後炎症反応に関する多施設共同後ろ向き調査研究」において収集した項目および術後 3 日目（±1 日）の血清 CRP および Alb 値。術後入院中の血清 Alb 最低値などの情報を用います。

４．外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

５．個人情報の取り扱い

研究対象者のプライバシーは厳重に守られ、また、その他人権に関わる事項についても十分な配慮がなされます。本研究の登録の際には氏名やカルテ番号等の個人情報の匿名化を行うため、研究対象者の名前や個人情報が特定・公開されることはありません。収集した臨床情報に関しては、個人情報の保護に細心の注意を払い、情報の漏洩、紛失、転記、不正な複写などがないように研究を実施します。

６．研究組織

市立豊中病院(今村　博司)、箕面市立病院(谷口　博一)、市立吹田市民病院(戎井　力)、済生会千里病院(高山　治)、関西労災病院(竹野　淳)、市立伊丹病院(福永　浩紀)、大阪国際がんセンター(大森　健)、国立病院機構大阪医療センター(平尾　素宏)、堺市立総合医療センター(藤田　淳也)、八尾市立病院(遠藤　俊治)、市立池田病院(赤丸　祐介)、市立東大阪医療センター(松山　仁)、大阪警察病院(岸　健太郎)、大阪労災病院(川端　良平)、市立貝塚病院(川田　純司)、大阪大学消化器外科(土岐　祐一郎)、第二大阪警察病院(文　正浩)、大手前病院(谷口　英治)、日生病院(生島　裕文)、兵庫県立西宮病院(岡田　一幸)、大阪大学消化器外科(土岐　祐一郎)（順不同）

７．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪急性期・総合医療センター　消化器外科
〒558-8558　大阪市住吉区万代東３丁目１－56
TEL:06-6692-1201(代表)　FAX：06-66067032（外科外来）
研究責任医師：藤谷　和正
研究分担医師：本告　正明　　宮﨑　安弘

研究代表者
大阪大学大学院医学系研究科　外科学講座消化器外科学　土岐　祐一郎